

注意報 注意報 注意報 注意報 注意報 注意報 注意報

6011-1458
令和元年8月1日

各関係機関の長
各病虫害防除員 殿

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター所長

令和元年度病虫害発生予察注意報第4号について

令和元年度病虫害発生予察注意報第4号を発表したので送付します。

令和元年度病虫害発生予察注意報第4号

令和元年8月1日
宮崎県

病虫害名 トビイロウンカ

作物名 普通期水稻

1. 発生地域 県内全域

2. 発生程度 やや多

3. 発生状況と注意報の根拠

(1) 7月下旬の巡回調査(41地点)における発生面積率36.6%(平年19.5%、前年0%)、株当たり虫数0.05頭(平年0.04頭、前年0頭)であった。発生面積率、株当たり虫数いずれも平年よりやや多で、過去10年間で3番目に多い(図1、図2)。

(2) トビイロウンカの本年度の初飛来は6月6日であった。その後、7月2~3半旬にかけ、まとまった飛来が認められた。6月1半旬から7月3半旬における予察灯のトビイロウンカの累積誘殺数は70頭(平年26.6頭、前年2頭)で平年より多い(図3)。

(3) 鹿児島地方气象台が7月25日に発表した向こう1か月の気温(7月27日~)は高い確率が40%、降水量は平年並または少ない確率ともに40%と予想されていることから、本種の増殖に好適な状況が続くと考えられる。

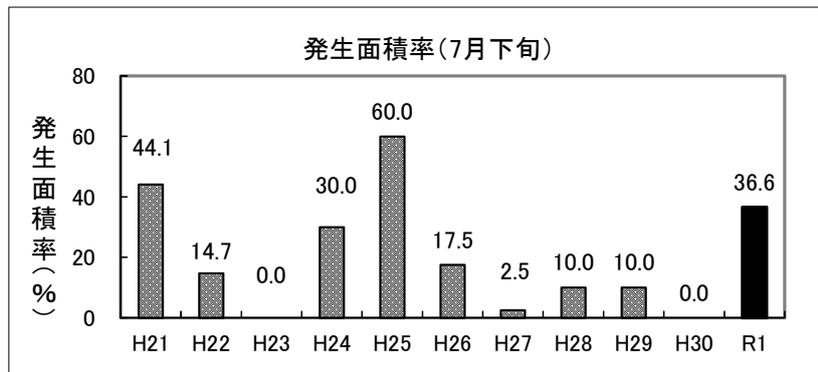


図1. 発生面積率の推移

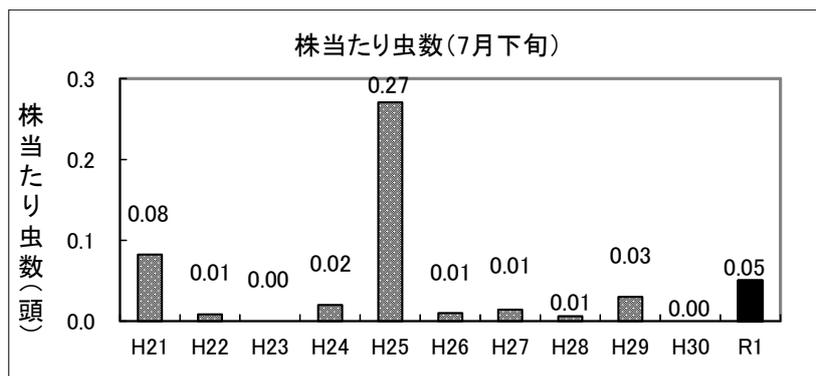


図2. 株当たり虫数の推移

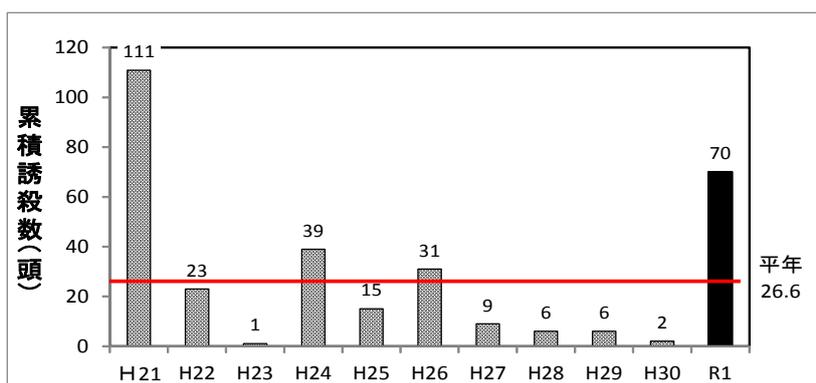


図3. 予察灯におけるトビイロウンカの累積誘殺数 (6月1半旬～7月3半旬)

4. 防除上の注意

(1) 複数回の飛来が認められるが、日別の誘殺状況及び箱施薬剤の残効を考慮し、7月10日頃を重点防除が必要な飛来波とした。7月10日飛来分を主要飛来と想定した場合の防除適期(幼虫期前半)は8月4半旬～8月6半旬頃(高千穂は8月5半旬～9月1半旬)と予想される(別紙参照)。防除を行う際は地域毎の防除適期内に行うことが望ましい。ただし、ほ場によって発生状況にばらつきがあることから、ほ場内をよく観察し、幼虫を多数確認した場合は速やかに防除を行う。

(2) トビイロウンカは株元に生息し、低密度であっても、その後の増殖率が高く坪枯れを引き起こすので、薬剤は株元に十分到達するよう散布する。ただし、薬剤ごとの総使用回数や使用時期(収穫前日数)には十分に注意する。

(3) 飼料用稲の防除に当たっては、「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」(平成26年12月第6版、平成30年12月19日一部改正)及び「飼料として使用する粳米への農薬の使用について」(平成21年4月20日付け21消安第658号、21生畜第223号関係課長通知、平成30年12月19日一部改正)、「飼料の有害物質の指導基準及び管理基準について」(昭和63年1月14日付け63畜B第2050号畜産局長通知、平成30年12月19日一部改正)に沿って、適期防除に努める。

- ・その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局(農業改良普及センター)、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- ・6月1日から8月31日の3か月間、農薬危害防止運動を実施しています。ラベル表示の内容を十分に確認し、農薬使用基準を守って農薬散布を行い、危害防止に努めましょう。

<連絡先>
 宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 黒木
 TEL:0985-73-6670 FAX:0985-73-2127
 ホームページ: <http://www.jpnpn.ne.jp/miyazaki>
 E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

過去のトビイロウンカによる被害状況



写真1. トビイロウンカによる坪枯れ (H25)
(※被害がほ場全体に拡がり、反枯れ状態となっている)

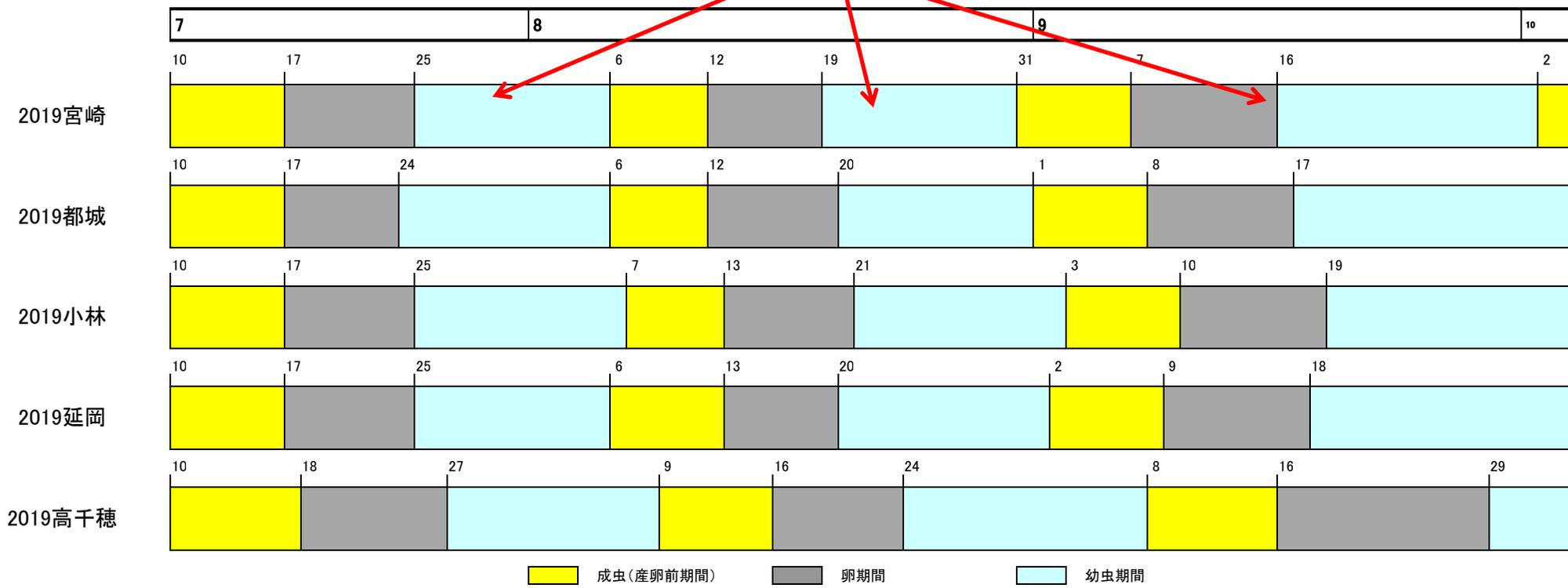


写真2. 株元を集中加害するトビイロウンカの成幼虫 (H24)

2019 トビイロウンカの発生世代予測(7月10日飛来分)

別紙

防除適期



各発生世代別の防除適期は次のように予測されます

地域	飛来時期	第1世代の防除適期	第2世代の防除適期	第3世代の防除適期
2019宮崎	7月10日	7月26日 ~ 8月2日	8月21日 ~ 8月28日	9月18日 ~ 9月28日
2019都城	7月10日	7月26日 ~ 8月3日	8月21日 ~ 8月29日	9月19日 ~ 9月29日
2019小林	7月10日	7月27日 ~ 8月4日	8月22日 ~ 8月30日	9月21日 ~ 10月1日
2019延岡	7月10日	7月26日 ~ 8月3日	8月22日 ~ 8月29日	9月20日 ~ 9月30日
2019高千穂	7月10日	7月28日 ~ 8月5日	8月26日 ~ 9月4日	10月3日 ~ 10月24日

各世代発生始期予測

世代	Stage	地域別発生始期				
		2019宮崎	2019都城	2019小林	2019延岡	2019高千穂
初期侵入世代	成虫	7月10日	7月10日	7月10日	7月10日	7月10日
	卵	7月17日	7月17日	7月17日	7月17日	7月18日
第1世代	幼虫	7月25日	7月24日	7月25日	7月25日	7月27日
	成虫	8月6日	8月6日	8月7日	8月6日	8月9日
	卵	8月12日	8月12日	8月13日	8月13日	8月16日
第2世代	幼虫	8月19日	8月20日	8月21日	8月20日	8月24日
	成虫	8月31日	9月1日	9月3日	9月2日	9月8日
	卵	9月7日	9月8日	9月10日	9月9日	9月16日
第3世代	幼虫	9月16日	9月17日	9月19日	9月18日	9月29日
	成虫	10月2日	10月4日	10月6日	10月5日	6月1日

※7月10日飛来を起算日とした。気温は7月28日までは本年値、それ以降は各地域の平年値を参考にした。
 なお、実際の世代交代は今後の気温の推移や今後の飛来状況等により異なる場合がある。
 ※発生世代予測は「有効積算温度による海外飛来性害虫の発生予測支援システムVer. 6.00 (S.TERAMOTO)」より算出。